

CCC 2010年度活動報告

コミュニティ・コラボレーションセンター



2006年に発足したコミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)。ボランティア・社会貢献をキーワードに学外のコミュニティと協働した新しい教育プログラムを展開する教育機関です。「教育」と「支援」の2つを軸に、「文化」「世代」「地域」「社会」を舞台に、学生が地域、行政などのさまざまな人と幅広い活動に励み、自己を成長させる生きた学びが得られるようにサポートしています。昨年はCOP10(生物多様性国際会議)に関連し、CCCでも多くの環境活動を行いました。その一部を紹介します。

授業

学生の実践力を育む「教育」

地域や社会とつながる新しい教育プログラムを創出します。

【CCC開設科目】

- 講義型授業 「入門ボランティア」「障がい者支援ボランティア入門」
 - 課題探究型・演習型授業 「コミュニティ・サービスマーケティング(I~V)」
- | | | | |
|--------|----------|-------|----------|
| CSLI | まちづくり | CSLII | 企業のCSR活動 |
| CSLIII | 地域メディア実践 | CSLIV | 地域福祉 |
| CSLV | 日本語学習支援 | | |
- ※授業科目は2011年度の予定です

「教育」と「支援」の両軸で、学生一人ひとりの広い視野と行動力を育み、社会に貢献できる人材の育成を支援します。

学生の自主活動

学生の自主活動を支える「支援」

一人ひとりの思いをカタチにし、自主活動を支援します。

学生一人ひとりが持つ活動への意欲や思いを大切に、学外のさまざまなコミュニティとの出会いをコーディネートしながら、学生自ら活動の幅や人との輪を広げていけるように後押しをしています。



日本で暮らす外国人の子どもたちに将来の進路を考えるワークショップとして、大学を紹介する「オープンキャンパス」を開きました。参加者は大学進学への関心を高めたようです。

地域活動総合演習



日進市「お父さんの育児参加促進を目的とした男女平等パートナーシップ事業」の企画運営を行っています。お父さんと子どもが一緒にクラフト工作を行い、それを利用して親子運動会を行いました。

行政との連携

COP10(生物多様性条約)ユース会議交流会の企画・運営を共に行いました。65か国70人の海外青年を東山動物植物園、有松など5つのフィールドに案内し、共に自然体験、文化体験を行いました。

他大・学生行政・企業・NPO団体との連携



企業との連携

(株)デンソーの社会貢献活動の一環であるDECOSクールで、CCC学生スタッフが蜜蜂の減少から環境問題を考えるブースを出展しました。この他にも、(株)中部電力、(株)東邦ガス、(株)三越などさまざまな企業と連携して活動しています。



「コミュニティ・サービスマーケティングⅢ」

COP10に伴い、名古屋水族館と協働して生物多様性を紹介する映像作品の制作に取り組みしました。

「コミュニティ・サービスマーケティングⅠ」

長久手町の小学校を回りながら、世界共通の絵文字を使った環境マップ「グリーンマップづくり」を継続して行っています。COP10期間中にグリーンマップフォーラムが愛地球博記念公園で開催され、大学生と小学生が協働で作成するグリーンマップの事例が紹介されました。



前旭山動物園園長の小菅さんより、作品の講評をいただく

◆長久手町との包括連携協定

CCC開設時から、長久手町と協働して様々な活動を行ってきたが、今後さらなる連携のため、愛知淑徳大学と長久手町は包括協定を結びました。調印式当日は、長久手町で活躍する学生の取組みが紹介されました。



加藤町長と小林学長を囲んで

ペットボトルのキャップを回収、換金し、途上国へのフクチン支援をしている(shu-shu-Train☆)

学内コンペの様子



※活動の一部はCCCホームページで配信しています。

◆「チャレンジファンド2010」
CCCでは、2009年度より本学学生の社会貢献活動を助成する「チャレンジファンド」を設けています。学生たちが自ら率先して活動し、成長していくプロセスを応援します。
今年度は13団体が助成対象となりました。小学校の英語授業サポート、高齢者施設にて音楽演奏を通しての交流、途上国への支援、学内のバリアフリーマップ作成など、各団体が独自の活動を展開しています。

